

Researcher Mobility Grant 報告書

招聘教授の情報

1. 氏名 Ghazaleh Khodabandelou
2. 所属機関・職名 University Paris-Est Créteil (パリ, フランス)・教授
3. 研究期間 2026 年 5 月 23 日～6 月 6 日
4. 専攻 先端数理科学研究科先端メディアサイエンス専攻
5. ホスト教員・所属 菊池浩明・総合数理学部教授
6. 講演会の概要

(1) Private and Secure AI: Learning from Sensitive Data Without Exposing It

- ① 2026 年 5 月 27 日 (水) 17:10-18:50, 9 名
- ② 本講義では, 大規模言語モデルの現状と課題を整理し, 敵対的攻撃やプライバシー保護の必要性を認識したうえで, 差分プライバシー技術, 準同型性暗号を用いたセキュア集約技術, 機械アンラーニングを含む最新のプライバシー保護研究について解説を行った. 特に, がん患者や糖尿病罹患者のリストが保つ機微性とそれらを有効に利活用することの間のトレードオフについて具体例を用いて議論した. この講演に対して, 参加者から, 入力データの仮定はあるかどうか, ヘルスケアデータにおける最も重要な脅威は何かなどの質問が寄せられた.

(2) Modern AI in Practice: Large Language Models, Multimodal Systems and Their Limits

- ① 2026 年 6 月 2 日 (火) 17:10-18:50, 9 名
- ② 本講義では, 最新の大規模言語モデル LLM, マルチモーダルシステムの現状と課題を明らかにした. 特に, RAG (Retrieval-Augmented Generation), Agentic AI, Hallucination などの最新技術と脅威を, 例を用いて解説した. この講演日垂して, AI の能力と教育コストの違い, 反復的学修コストの必要性, LLM の安全性担保の方策, レコード再構築の脅威, 高等教育における AI の望ましい使い方など, 参加者がそれぞれの分野で抱えている諸問題についての多くの質問が寄せられ, 議論が展開した.

ホダホンデル教授の講演は分かりやすい英語で行われ, 時々日本語を交えて聴衆の興味を引いた魅力的なものであった. 小規模な集会であったため, 自由な質疑応答をすることができ, 大学院生に対する教育効果は大きかった. 本講義の貢献に対して, ホスト教員より感謝状が贈呈され, 記念写真を撮った.

7. 研究課題, 研究概要, 研究期間中の活動実績

講演の他にも、博士課程学生を交えて、次のような打合せを行った。ホバホンデル教授との共同論文が、国際会議 ICPRAI 2026 に採録されたため、その発表内容の相談や今後のジャーナル論文への計画などを取り決めた。博士課程大学院生は、パリ東クレテール大学への留学を希望しており、今後そのための支援プログラムなどを検討していくことになった。

May 27, #1006, "Private and Secure AI"

June 2, 15:10-17:00, #1005, Toma's poster talk (ICPRAI 2026)

June 2, "AI in Practice: LLM"

June 3, 16:00-17:30, #1006, Meeting (special issue, visit to Paris-Est Creteil),

最後に、このような有益な国際交流を実現させることができた国際交流基金事業に対して感謝致します。

講演会での写真、ホスト教員との記念写真

